

focus the
KAKO

全国大会出場者壮行会



7月20日(水)、終業式の後に壮行会が行なわれ、今年も8つの部活動、延べ41名が全国大会出場を決め、和太鼓演奏・選手紹介の後に各部の代表が挨拶をし、意気込みを述べました。

須田勝広校長先生は「インターハイは3万5千人を越える生徒・コーチが一同に集する一大イベント。今まで積み重ねてきた努力が一番の財産になる。自信を持って参加してほしい。」と激励し、同窓会会長の淵村文一郎様からは激励の言葉と共に各部に激励金が贈呈されました。

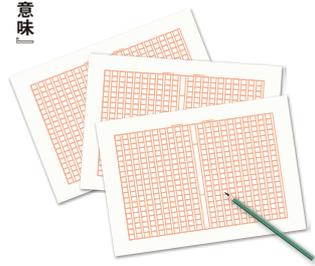
三弘会会長の古川美津季さん(3F6 吉野東中)の「全国大会という大きな舞台で最後まで諦めずに頑張っている。良い結果に繋がるように応援している」という激励の言葉の後、野球部のエールで会は締めくくられました。選手活躍は別途紹介します。

focus the
KAKO

第52回校内作文コンクール表彰式

4月末〜GW期間中に書いた生活作文の入賞者について、1学期終業式で表彰を行いました。この作文コンクールは日頃の考えを形にするもので、1年生は心機一転、はじめての高校生活への決意を、2、3年生は将来への具体的な展望などを述べていました。自分ができるようなことを決意して新年度をスタートさせたか初心を思い出し、2学期の学校生活に繋げてほしいと思います。

- 【普通科】
- 1年 塚本小暁(1F1 和田中)「群青」
 - 2年 田尻琴美(2F7 西紫原中)「自分とむきあう」
 - 3年 前島寛太(3F2 東谷山中)「祖母の介護と高齢者介護」
- 【情報ビジネス科】
- 1年 富永真衣(1J3 武中)「戦争と平和」
 - 2年 迫田寿々子(2J2 吉野東中)「音楽と私」
 - 3年 川畑りお(3J1 南指宿中)「高校生活」
- 【英数科】
- 1年 西きよら(1ET1 皇徳寺中)「多様な優しさ」
 - 2年 竹内柚葉(2EE1 谷山中)「日本の少子化問題について」
 - 3年 野元やよい(3ET1 和田中)「わたしにとつての『勉強』の意味」



focus the
KAKO

日本一に輝く生徒紹介

第38回U20日本陸上競技選手権大会 U20女子三段跳

優勝
片野坂唯月(3J1 高尾野中)



Q 三段跳びを始めたきっかけは？
A 元々、走幅跳をしていたのですが、同じ跳躍種目ということで中学校の先生に勧められたのがきっかけです。
Q 競技をする上で心に刻んでほしいことは？
A 絶対に跳べると思って、これまでの練習や経験を自信にして競技しています。

Q 日本一になった時の気持ちは？
A 大学生もいる中だったので優勝出来たと思っていなくて、驚きと嬉しさがありました。日本一になったという事で、これからの自信にもなりました。
Q 今後の目標は？
A 県高校記録(12m50)、日本高校記録(12m96)の更新をして、インターハイ優勝することです。

ALL JAPAN HIP-HOP DANCE CHAMPIONS #2022

アドルト部門
優勝
上村 倅太(3F2 和田中)



Q ダンスをする上で心に刻んでいることは？
A 大きな目標を決めるのではなく、小さい目標を多く決めて達成して行くようにしています！

Q 日本一になった時の気持ちは？
A 日本一に輝けたのはもちろん嬉しかったのですが、「世界一」を取るための通過点に過ぎないので、まだまだこれからだ！！！！と思えました。
Q 次の目標は？
A 世界一！！！！！！



Scio(スキオー)の意味

知るを意味するラテン語.science(科学)の語源にあたるscientia(知識)は、Scioの派生語とされています。

大学を理解する…

「何を見たら大学がわかるの?」

副題は夏休みを前にした高校生から聞こえてきそうな言葉です。皆さんはこの声にどのように答えるでしょうか。「ネットでわかるよ」「オープンキャンパス行ってみたら」「先生に聞きなさい」など、いろいろあるでしょう。今回は、従来までの一般的な情報源(①)②③に加え、最近の上級学校の試み(④)について考えたいと思います。

①ホームページ情報

各上級学校(大学・短大・専門学校)のホームページの情報は充実しています。私立大学では既に2023年度入試の募集要項が発表されていると思います。その他、オープンキャンパスや各種イベント情報も満載です。最近では高大接続改革事業(後述④)として、高校生向けの特別授業・講義の案内もあります。コロナ禍による事前申込の必要もありますが、夏休みの計画に取り入れることも可能となります。

②オープンキャンパス

8月を中心に各上級学校はオープンキャンパスを実施しています。入試情報や就学に関わるお金の話をはじめ、修学意欲を喚起するための模擬授業や体験学習、グループ

ワークなど学びを楽しむイベントが企画されています。

③シラバス(講義計画書)

最近では学生の受講登録のネット利用が進んでおり、ホームページから各大学のシラバスを閲覧することができます。講義名には専門的用語が使用されることもあり、理解にはやや苦しみますが、その分、学部や学科の中身を知ることが可能となります。進学したい学部・学科から学校を選びたいときには有効です。

④高大接続事業

最近、各大学がある一定期間を利用して行っている企画です。2021年、福井大学はあるプロジェクトを実施しました。参加者に3月と7月に事前課題としてレポートを作成させ、8月に講義や実習、グループワークを実施して、最終レポートの提出を課すというものです。プロジェクト参加は出願要件ではありませんでしたが、同大学の学校推薦型選抜にプロジェクト参加者19名が出願し、実質倍率は前年度2.23倍から3.03倍と増加し、うち8名のプロジェクト参加者が合格したということです。また、2022年、鹿児島大学の理学部・工学部農学部は、それぞれ独自に体験授業を企画しています。参加者は「高大接続科目履修生」として、大学1年生が受講する講義、90分講義15回を有料で受講し、レポート提出、試験に合格すれば、同大学に進学した際に取得単位として認定されるものです。

④は従来の出前授業やオープンキャンパスなどの「受験者開拓」ではなく、少子化の中での「受験者育成」を目的としており、志願者の学びを育む高大接続活動といえます。しかし、一方で「合格したいだけ」の受験生は、志望校の様々なイベントに振り回されることになりかねません。各学校による④の実施は「どのような力を身につけたいのか」「どこで学びたいのか」「何を評価してもらいたいのか」について、明確にすることを受験生自身に対して求めているようです。

進学指導主任・西村浩一



徒然なるままに

地歴公民科 瀧口大資

学ぶとは何か。一説によると、学ぶの語源は真似(まね)とされており、真似をすることが元の意味であるらしい。真(しん)に似せる、すなわち師匠に似せることが学ぶということであった。これは芸事(げいご)や技術の伝承にかなり有効な方法だろう。

世の中には価値観を含めて不変のものもあるし、激変するものもある。不変のものに対する学びは、上述したように真似をするところからイメージすることがいいだろう。ここでは詳しく触れないが、守破離という有名な言葉もある。では、激変するものに対する学びはいかにあるべきだろうか。このことをテーマに少し考えてみたい。

まず、学ぶ対象がそもそも激変するものであるから、時間が経つとももにかなりの変化をするということ想定しなければならぬ。そうすると、真似をしている間に「真」の方が変化してしまっている可能性がある。であれば、真似をして型を体得するという行為よりも優先して身につけなければならないことがある。それは洞察力である。

この洞察力、すなわち物事の本質を見極める力が、最近の世の中では軽視されているように思われてならない。学ぶとは何かという問いに対する私なりの答えは、「洞察力を身につけるための過程」である。物事は、役に立つか、役に立たないかという表面的な部分だけで判断してはいけない。物事の本質は何かということを考える必要がある。例えば、「今までこうしてきたから、これからも続けよう」はいつも正しいか。「偉い人がいうことだからこうしよう」はいつも正しいか。「自分は今までこうしてきた」はいつも正しいか。常に考えることで、洞察力は磨かれる。

では、洞察力を磨くためには「常に物事の本質を考え、自省して生きる」だけでいいのか。残念ながら、それだけでは少し足りない。物事の本質を考えるためには、その物事に対する知識が必要だからだ。知識を得る方法は様々あるため、ここでは1つ1つは取り上げない。ここまで読んでくれた皆さんに、私からおススメする唯一の方法は「読書」である。読書やその他様々な経験によって知識を得て、それを洞察に用いること。この繰り返しが大切である。洞察力が皆さんの幸せにつながることを祈りつつ、この乱文の締めとしたい。



部活動の活躍

陸上競技部

7月1日～2日

鹿児島県陸上競技選手権大会

●一般の部(大学・一般と同じ区分)

〔女子三段跳〕

優勝 片野坂唯月(3J1 高尾野中)

3位 片野坂瑞希(3J3 高尾野中)

4位 上間咲季(3EE2 伊敷中)

〔女子走幅跳〕

優勝 片野坂唯月(3J1 高尾野中)

2位 柳田陽香(2F6 城西中)

3位 住吉璃音(3J1 大口中央中)

〔女子400mハードル〕

優勝 芝元陽菜璃(3J3 伊敷台中)

2位 橋元幸菜(2J1 野田中)

〔女子七種競技〕

優勝 中島夏那(2F6 亀津中)

〔女子100mハードル〕

2位 住吉璃音(3J1 大口中央中)

〔女子棒高跳〕

2位 田原夕愛(2J1 穎娃中)

5位 川原和香(1F3 川内南中)

〔女子やり投〕

2位 稲付日和(2F7 吉野中)

〔男子十種競技〕

2位 松下怜(3F3 大口中央中)

3位 田畑秀磨(2EE2 川内中央中)

〔女子走高跳〕

3位 横村澤南(1F10 天保山中)

5位 西川雛羽(1F2 松元中)

6位 藤谷好南(2J4 武中)

6位 稲留さと(1J6 鴨池中)

〔女子円盤投〕

5位 吉松瑠菜(3J3 伊敷台中)

6位 稲付日和(2F7 吉野中)

〔女子砲丸投〕

5位 稲付日和(2F7 吉野中)

〔男子走高跳〕

6位 若下優世(2F6 吉野中)

〔男子棒高跳〕
6位 須田悠斗(3F5 川内南中)
以上9人も含めて合計で延べ24人が8月19日から行われる九州選手権への出場権を得ました。

●ジュニアの部(中学・高校の部)

〔男子300mハードル〕

優勝 松下怜(3F3 大口中央中)

3位 有郷莉玖(1F9 大口中央中)

4位 徳永煌介(2EE2 末吉中)

〔女子300m〕

優勝 満園彩可(2J1 城西中)

〔女子300mハードル〕

優勝 住吉璃音(3J1 大口中央中)

3位 芝元陽菜璃(3J3 伊敷台中)

6位 井上ハルカ(1F5 国分南中)

〔女子100mハードル〕

2位 柳田陽香(2F6 城西中)

3位 榑美咲(3J1 明和中)

4位 井上ハルカ(1F5 国分南中)

5位 服部美音(1F8 西紫原中)

〔男子ハンマー投〕

3位 下入佐豆成(3F5 武中)

〔男子110mハードル〕

4位 松島悠斗(1J1 金久中)

5位 有郷莉玖(1F9 大口中央中)

〔女子100m〕

4位 片野坂瑞希(3J3 高尾野中)

〔男子100m〕

5位 田室興企(3F3 伊敷台中)

〔男子走幅跳〕

5位 樋高多聞(1F4 鴨池中)

〔男子円盤投〕

5位 松永健希(3F4 川内北中)

6位 尾瀬太陽(1J6 星峯中)

鹿児島県陸上競技選手権大会

7月1日～2日

●一般の部(大学・一般と同じ区分)

〔男子5000m競歩〕

2位 濱本翔太(2J2 吉野東中)

5位 堀切颯真(2F2 羽島中)

〔女子800m〕
3位 時任桜子(3F2 国分南中)
5位 永吉悠優(3EE2 松元中)
6位 神田美咲(1F10 松元中)

〔女子5000m競歩〕

3位 石川晴佳(2F2 西紫原中)

4位 川路由真(2J3 東市来中)

〔男子3000m陸上〕

4位 増水蓮(3J2 南中)

〔男子800m〕

5位 飯牟禮孔暉(2F3 東市来中)

以上9種目が8月19日から行われる九州選手権への出場権を得ました。

●ジュニアの部(中学・高校の部)

〔女子3000m〕

優勝 藤元あみ(3J2 城西中)

4位 鍛冶屋朋華(3J2 生冠中)

〔男子3000m〕

3位 中国勁翔(1F8 国分中)

4位 吉元鷹士郎(2F2 出水中)

〔女子1500m〕

3位 長谷川凜佳(2J4 吉野東中)

6位 平野悠利(1F7 松元中)

水泳部

7月2日～3日

鹿児島県選手権水泳競技大会

〔男子無差別100m自由形〕

2位 本渡星宇(2F3 帖佐中)

〔女子無差別100m平泳ぎ〕

2位 末永愛月(2F5 吉野中)

〔女子無差別200m平泳ぎ〕

2位 末永愛月(2F5 吉野中)

〔女子無差別400m個人メドレー〕

3位 早崎愛莉(2F2 甲南中)

〔男子無差別400m自由形〕

4位 宮崎珀弥(2F5 鴨池中)

〔女子無差別50m自由形〕

4位 片岡ミヅ(3F5 鴨池中)

5位 中村珠梨(1F8 鴨池中)

〔女子無差別200m個人メドレー〕

4位 早崎愛莉(2F2 甲南中)

〔女子無差別女子500mバタフライ〕
4位 柳こはる(2J2 甲南中)
〔男子無差別50m自由形〕
5位 本渡星宇(2F3 帖佐中)
〔男子無差別50mバタフライ〕
5位 小野海飛(3J3 長田中)
〔男子無差別50m平泳ぎ〕
6位 濱田航士朗(3F6 吉野中)
〔女子無差別100m自由形〕
6位 片岡ミヅ(3F5 鴨池中)
〔女子無差別女子100mバタフライ〕
6位 有村幸花(1J3 吉田南中)

鹿児島市民体育大会

7月10日

〔高校生男子100m平泳ぎ〕

1位 濱田航士朗(3F6 吉野中)

2位 岩下海響(2F8 鴨池中)

3位 宮崎珀弥(2F5 鴨池中)

〔高校生男子100m自由形〕

1位 本渡星宇(2F3 帖佐中)

〔高校生女子100m自由形〕

1位 末永愛月(2F5 吉野中)

〔高校生男子200m個人メドレー〕

2位 片ノ坂俊介(3EE1 桜丘中)

全九州高等学校水泳競技大会

7月16日～18日

〔男子200m自由形〕

2位 宮崎珀弥(2F5 鴨池中)

★インターハイ出場権獲得

〔女子200m個人メドレー〕

2位 早崎愛莉(2F2 甲南中)

★インターハイ出場権獲得

〔男子400m自由形〕

3位 宮崎珀弥(2F5 鴨池中)

★インターハイ出場権獲得

〔女子400m個人メドレー〕

5位 早崎愛莉(2F2 甲南中)

〔女子4×100mメドレーリレー〕

7位 早崎愛莉(2F2 甲南中)

末永愛月(2F5 吉野中)

有村幸花(1J3 吉田南中)

片岡ミヅ(3F5 鴨池中)

〔女子100m平泳ぎ〕
7位 末永愛月(2F5 吉野中)

フェンシング部

2022年全九州フェンシング選手権大会(全日本選手権大会予選)

〔女子フルール個人〕

3位 川ノ上可乃音(2J4 清水中)

★9月に東京行なわれる全日本選手権の出場権を得ました。

バドミントン部

7月2日～3日

鹿児島県ジュニアオリンピックカップ

〔女子ダブルス〕

3位 永山彩央(1J6 城西中)

橋山璃玖(1J1 南指宿中)

書道部

第60回南日本七夕書道展

鹿児島市教育委員会賞

篠原叶百華(2EE2 串木野中)

南日本書道会賞

名越優花(3F4 東谷山中)

7月3日

全国商業高等学校協会主催の第68回ビジネス文書実務検定1級部門合格者

1級合格

石川夢叶(2J1 垂水中央中)

井ノ上咲優(2J2 鹿屋東中)

中村美優(2J2 星峯中)

正岡れいか(2J3 西陵中)

宮下美羽(2J3 東郷学園)

芝原慧仁(2J4 城西中)

1級ビジネス文書部門合格

小倉一樹(2J2 川辺中)

迫田寿々子(2J2 吉野東中)

篠原杏(2J2 城西中)

内倉もえ(2J3 西陵中)

河内凜音(2J3 伊敷台中)

藤田友音(2J3 星峯中)

山本沙奈(2J3 福平中)

福迫萌衣(2J4 武中)

中山和奏(2J1 知賢中)

牧迫美紗(2J1 紫原中)

水橋凜(2J1 陵南中)

阿部晋也(2J4 南中)

